



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月11日

上場会社名 不二製油グループ本社株式会社 上場取引所 東
コード番号 2607 URL <https://www.fujioilholdings.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 酒井 幹夫
問合せ先責任者 (役職名) 連結グループリーダー (氏名) 高村 武邦 TEL 06-6459-0731
半期報告書提出予定日 2024年11月11日 配当支払開始予定日 2024年12月10日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	315,959	16.6	4,655	△47.1	2,367	△71.5	1,007	△91.9
2024年3月期中間期	271,038	1.0	8,800	73.7	8,300	54.7	12,365	283.1

（注）包括利益 2025年3月期中間期 △10,558百万円（-％） 2024年3月期中間期 35,272百万円（22.8％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	11.71	—
2024年3月期中間期	143.84	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	501,818	223,821	42.6	2,488.39
2024年3月期	470,221	244,291	49.4	2,700.95

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 213,937百万円 2024年3月期 232,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	26.00	—	26.00	52.00
2025年3月期	—	26.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	26.00	52.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	645,000	14.3	23,500	29.0	18,500	10.2	12,000	83.9	139.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※詳細は、本日公表の「中間期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	87,569,383株	2024年3月期	87,569,383株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	1,595,242株	2024年3月期	1,604,957株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	85,967,386株	2024年3月期中間期	85,964,693株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想値とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等の注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間は、安全保障問題に関連する経済的な影響や中国の景気動向等が懸念要素としてありつつも、堅調な雇用・所得環境を背景として、欧米を中心に景況は底堅く推移しました。

日本においては、物価指数の上昇は続いておりますが雇用環境の改善等により、個人消費は緩やかな拡大傾向が続いています。大企業等を中心に企業景況感は良好であり、設備投資関連指数も堅調な水準となっております。

原材料相場においては、おおむね安定的に価格が推移しましたが、カカオ豆の原材料価格は、2024年年初より急騰し4月に最高値を更新、その後も不安定に推移しています。

カカオ豆価格の高騰に伴い当社グループでは、当社グループの強みであり技術力を有するチョコレート用油脂及びコンパウンドチョコレート等の販売拡大の機会と捉え、顧客に対する提案・販売を強化しています。Blommer Chocolate Company(米国、以下「Blommer」)では、2024年3月22日に公表した構造改革の実行を進めており固定費の削減効果も発生しておりますが、主原料であるカカオ豆の調達価格の上昇及び関連費用の増加に伴い一時的に採算が悪化したことにより、当中間連結会計期間において営業損失が発生しました。

以上の結果、当中間連結会計期間における経営成績は、以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益
2025年3月期 中間連結会計期間	315,959	4,655	2,367	1,007
2024年3月期 中間連結会計期間	271,038	8,800	8,300	12,365
前年同期比 増減 (前年同期比 増減率)	+44,921 (+16.6%)	△4,144 (△47.1%)	△5,932 (△71.5%)	△11,358 (△91.9%)

売上高は、業務用チョコレート事業での原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇や、植物性油脂事業での堅調な販売、円安の影響等により増収となりました。

植物性油脂事業では、東南アジアにおいて販売が伸長したことに加え、原材料価格が比較的安定したこと等により採算性が改善しました。業務用チョコレート事業では、日本、東南アジア及びブラジルにおいて価格改定による採算性の改善が進んだ一方、Blommerにおいて、構造改革の効果はありつつも、カカオ豆の調達価格の上昇及び関連費用の増加に伴い一時的に採算が悪化したことにより営業損失が発生しました。これらの要因により、営業利益は減益となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期に計上したFuji Oil New Orleans, LLC(米国)の固定資産譲渡による特別利益の反動等により減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

(単位：百万円)

	売上高	前年同期比 増減	前年同期比 (%)	営業利益	前年同期比 増減	前年同期比 (%)
植物性油脂	96,695	+3,906	+4.2%	10,842	+3,305	+43.9%
業務用チョコレート	155,915	+39,304	+33.7%	△6,617	△7,308	—
乳化・発酵素材	45,281	+1,658	+3.8%	1,741	+294	+20.4%
大豆加工素材	18,066	+51	+0.3%	801	△170	△17.6%
連結消去・グループ管理費用	—	—	—	△2,111	△265	—
合計	315,959	+44,921	+16.6%	4,655	△4,144	△47.1%

(植物性油脂事業)

売上高は、米州における販売数量の減少はありましたが、東南アジアでの販売数量の増加及び円安の影響等により増収となりました。営業利益は、人件費等の固定費の増加はあるものの、原材料価格の安定や東南アジアを中心とした販売伸長により増益となりました。

(業務用チョコレート事業)

売上高は、原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇や、日本や東南アジアでの販売数量増加、円安の影響等により増収となりました。営業利益は、日本、東南アジア及びブラジルにおいて価格改定による採算性の改善が進みましたが、Blommerにおいてカカオ豆の調達価格の上昇及び関連費用の増加に伴い一時的に採算が悪化したことにより、減益となりました。

(乳化・発酵素材事業)

売上高は、日本での製パン向けの堅調な販売や東南アジアでの販売数量の増加、円安の影響等により増収となりました。営業利益は、人件費等の固定費の増加はあるものの、原材料価格の安定により増益となりました。

(大豆加工素材事業)

売上高は、大豆たん白食品の販売数量の減少はあったものの、堅調な需要と円安による影響等により前年同期並みとなりました。営業利益は、日本での販売数量の減少等により減益となりました。

前事業年度の有価証券報告書に記載した「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」の会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の記載について、重要な変更はありません。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 連結財政状態の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ315億97百万円増加し、5,018億18百万円となりました。中期経営計画「Reborn 2024」において、資本効率の向上と財務モニタリング強化により事業基盤の強化・再構築を進め、財務体質の改善に取り組んでおります。

当中間連結会計期間末における連結財政状態は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

		2024年3月期	2025年3月期 中間期	増減
資産	流動資産	236,858	274,194	+37,336
	有形固定資産	150,750	149,030	△1,720
	無形固定資産	55,221	50,513	△4,708
	その他資産	27,390	28,079	+688
		470,221	501,818	+31,597
負債	有利子負債	130,286	192,943	+62,656
	その他負債	95,643	85,053	△10,589
		225,929	277,997	+52,067
	純資産	244,291	223,821	△20,470

(資産)

当中間連結会計期間末の資産は、原材料価格の上昇に伴う棚卸資産の増加等、主に流動資産の増加により、前連結会計年度末に比べ315億97百万円増加し、5,018億18百万円となりました。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債は、運転資本の増加に伴う短期借入金等の有利子負債の増加により、前連結会計年度末に比べ520億67百万円増加し、2,779億97百万円となりました。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は、米ドル、ユーロ及びレアル等に対する円高による為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べ204億70百万円減少し、2,238億21百万円となりました。

1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べ212円56銭減少し、2,488円39銭となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末比6.7ポイント減少し、42.6%となりました。

② 連結キャッシュ・フローの状況

当社グループは、財務規律を維持・向上するため、着実な利益成長とキャッシュ・コンバージョン・サイクルの短縮により、フリー・キャッシュ・フローを安定的に創出することを基本方針としております。

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2024年3月期 中間連結会計期間	2025年3月期 中間連結会計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,564	△26,584	△25,019
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,359	△8,917	△25,276
フリー・キャッシュ・フロー	14,794	△35,501	△50,296
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,873	43,790	+50,663
現金及び現金同等物	28,196	34,115	+5,919

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、265億84百万円の支出となりました。前中間連結会計期間に比べ、棚卸資産の増加に伴う運転資本の増加等により、250億19百万円支出が増加しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得等により89億17百万円の支出となりました。Fuji Oil New Orleans, LLCにおいて有形固定資産の売却による収入が発生した前中間連結会計期間に比べ、252億76百万円減少しております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、437億90百万円の収入となりました。前中間連結会計期間に比べ、短期借入金の増加等により、506億63百万円増加しております。なお、当中間連結会計期間において、社債について350億円の償還並びに250億円の発行を行っております。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、上期までの実績並びに足元の市場環境等に基づく下期見通しを勘案し、2024年8月9日に公表した予想数値を変更しております。詳細は、本日公表の「中間期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,490	34,851
受取手形及び売掛金	90,024	96,344
商品及び製品	51,724	56,635
原材料及び貯蔵品	57,277	69,445
その他	10,579	17,143
貸倒引当金	△238	△225
流動資産合計	236,858	274,194
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	47,780	45,668
機械装置及び運搬具(純額)	62,851	58,891
土地	20,057	19,033
使用権資産(純額)	7,655	6,756
建設仮勘定	9,273	15,609
その他(純額)	3,131	3,070
有形固定資産合計	150,750	149,030
無形固定資産		
のれん	21,840	19,135
顧客関連資産	19,035	17,262
その他	14,345	14,114
無形固定資産合計	55,221	50,513
投資その他の資産		
投資有価証券	16,002	16,691
退職給付に係る資産	7,064	7,355
繰延税金資産	669	682
その他	3,683	3,191
貸倒引当金	△60	△48
投資その他の資産合計	27,359	27,871
固定資産合計	233,332	227,415
繰延資産		
社債発行費	30	207
繰延資産合計	30	207
資産合計	470,221	501,818

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,321	37,884
短期借入金	33,151	83,509
1年内償還予定の社債	35,000	—
コマーシャル・ペーパー	10,000	20,000
未払法人税等	4,310	4,235
賞与引当金	3,354	3,224
役員賞与引当金	40	—
その他	18,758	20,188
流動負債合計	146,936	169,042
固定負債		
社債	6,000	31,000
長期借入金	46,135	58,434
繰延税金負債	17,223	10,562
退職給付に係る負債	2,022	2,002
リース債務	5,110	4,408
その他	2,500	2,546
固定負債合計	78,993	108,954
負債合計	225,929	277,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,208	13,208
資本剰余金	14,757	14,757
利益剰余金	163,810	156,219
自己株式	△1,947	△1,919
株主資本合計	189,828	182,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,868	1,916
繰延ヘッジ損益	726	△1,253
為替換算調整勘定	39,122	30,413
退職給付に係る調整累計額	639	594
その他の包括利益累計額合計	42,357	31,670
非支配株主持分	12,105	9,883
純資産合計	244,291	223,821
負債純資産合計	470,221	501,818

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	271,038	315,959
売上原価	230,628	277,200
売上総利益	40,409	38,759
販売費及び一般管理費	31,609	34,104
営業利益	8,800	4,655
営業外収益		
受取利息	566	491
受取配当金	38	50
為替差益	213	38
持分法による投資利益	299	703
その他	395	327
営業外収益合計	1,513	1,611
営業外費用		
支払利息	1,682	3,208
その他	330	690
営業外費用合計	2,013	3,898
経常利益	8,300	2,367
特別利益		
固定資産売却益	12,931	40
関係会社株式売却益	—	291
投資有価証券売却益	11	—
特別利益合計	12,942	332
特別損失		
固定資産売却損	0	14
固定資産除却損	197	100
関係会社事業再構築損失	—	18
投資有価証券売却損	—	8
棚卸資産処分損	305	—
特別損失合計	502	142
税金等調整前中間純利益	20,740	2,557
法人税、住民税及び事業税	5,517	1,230
法人税等調整額	380	△524
法人税等合計	5,898	706
中間純利益	14,841	1,851
非支配株主に帰属する中間純利益	2,476	844
親会社株主に帰属する中間純利益	12,365	1,007

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	14,841	1,851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	48
繰延ヘッジ損益	1,774	△1,976
為替換算調整勘定	17,578	△10,410
退職給付に係る調整額	42	△45
持分法適用会社に対する持分相当額	1,022	△24
その他の包括利益合計	20,430	△12,409
中間包括利益	35,272	△10,558
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	31,857	△11,036
非支配株主に係る中間包括利益	3,415	478

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	20,740	2,557
減価償却費	8,767	9,026
のれん償却額	1,346	1,126
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△246	△369
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	79	51
受取利息及び受取配当金	△604	△541
支払利息	1,682	3,208
持分法による投資損益(△は益)	△299	△703
投資有価証券売却損益(△は益)	△11	8
固定資産処分損益(△は益)	△12,733	74
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△291
売上債権の増減額(△は増加)	△562	△7,869
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,019	△20,957
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,437	△1,112
前渡金の増減額(△は増加)	△13,279	△919
その他	2,642	△3,522
小計	2,065	△20,234
利息及び配当金の受取額	875	878
利息の支払額	△1,550	△2,583
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,955	△4,645
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,564	△26,584
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,815	△8,910
有形固定資産の売却による収入	25,111	83
無形固定資産の取得による支出	△1,131	△1,494
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	34	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	1,819
関連会社株式の取得による支出	—	△326
出資金の払込による支出	△31	△36
その他	195	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,359	△8,917
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,933	34,881
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	—	10,000
長期借入れによる収入	8,000	17,631
長期借入金の返済による支出	△9,107	△2,757
社債の発行による収入	—	24,788
社債の償還による支出	—	△35,000
配当金の支払額	△2,237	△2,237
非支配株主への配当金の支払額	△131	△2,699
その他	△462	△816
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,873	43,790
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,283	△1,708
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,204	6,580
現金及び現金同等物の期首残高	18,991	27,480
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	54
現金及び現金同等物の中間期末残高	28,196	34,115

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、会計期間を年52週間とし、5月31日に最も近い日曜日が決算日であったBlommer Chocolate Company他4社の連結子会社は、1月の仮決算に基づく財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行ってきましたが、マネジメントサイクルを統一することでグループ一体となった経営を推進するとともに、業績等の経営情報の適時・適切な開示により経営の透明性を更に高めることを目的として、当連結会計年度より決算日を3月31日に変更しております。

これらの変更に伴い、当中間連結会計期間は、2024年4月1日から2024年9月30日までの6ヶ月を連結しております。

なお、当該連結子会社の2024年1月22日から2024年3月31日までの損益については、利益剰余金の減少6,359百万円として調整しております。利益剰余金の減少の主な要因は、カカオ豆価格の変動リスクをヘッジする目的で行っている先物取引に関して2024年年初から3月にかけてのカカオ豆の相場急騰に伴い発生した評価損等によるものです。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	植物性油脂	業務用チョコ コレート	乳化・発酵 素材	大豆加工 素材	計		
売上高							
外部顧客への売上高	92,789	116,611	43,622	18,014	271,038	—	271,038
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,732	1,349	2,114	102	15,300	△15,300	—
計	104,522	117,960	45,737	18,117	286,338	△15,300	271,038
セグメント利益	7,536	691	1,446	972	10,646	△1,846	8,800

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,846百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。全社費用は、提出会社及び一部の統括会社におけるグループ管理に係る費用であります。
2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	植物性油脂	業務用チョコ コレート	乳化・発酵 素材	大豆加工 素材	計		
売上高							
外部顧客への売上高	96,695	155,915	45,281	18,066	315,959	—	315,959
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,056	1,766	2,185	77	16,085	△16,085	—
計	108,752	157,682	47,466	18,143	332,045	△16,085	315,959
セグメント利益又は損 失(△)	10,842	△6,617	1,741	801	6,767	△2,111	4,655

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△2,111百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。全社費用は、提出会社及び一部の統括会社におけるグループ管理に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。